

特集

日ハムBP「**レスポンス**」HO

KKAIIDO」に続くプロジェクト

北広島島に

防災拠点
石狩管

にもなる
内最後の

「道の駅」構 想



道の駅の候補地の北広島市旧西部小跡地と誘致期成会が2013年に作成したパンフレット

北広島に 道の駅の実現を

多くの市民の声がカギ
道都隣接市で初めての施設に
災害時は救援対策の拠点

西部地区が有力な条件下に

市内最大の交通量をもつ国道36号の沿道で、北広島市域にまたがる道の駅建設としてほしいという声があがっています。道の駅には、当然大きな駐車場やトイレ、休憩施設がありますが、併せて、物産販売



北広島島の存在感をアピール

必要
千歳空港へ
30分圏内

駐車できるスペースのほか、大型車や観光バスなど数十台が駐車できる大駐車場を中心に、レストランと物産館を併設したメイン施設のほか、ペットと楽しめるドッグラン、観光農園、自動車の整備も行える工場やソーラー発電やジーゼル発電など災害時の基礎エネルギーを装置。
また、非常時に連絡できる無線やFM電波によ

る情報発信施設も置き、200万人以上が暮らす札幌圏での拠点となるような設備や施設の構想が20ページ以上にわたって書かれている。
提言書は「市民から道の駅」がなぜないのかという疑問より、なぜ造らないのかという声が強くなっている」として、「道の駅」の新しい役割に次のように言及している。
「札幌圏を震度7の烈震が襲うと、豊平川にかかる橋の中で崩壊しないのはミュンヘン大橋だけと厳しく指摘する学者もいる。そのときは鉄道、地下鉄、ライフラインが機能停止し、札幌市内は建物の倒壊、火災の発生が続出する

●レポート 黒田 伸 (ジャーナリスト)

西部小学校跡地が候補

同地区には2013年に「道の駅誘致期成会」(会長・菊池重敏札幌八幡宮宮司)が組織され、その建設地として、国道36号沿いの旧・北広島市西部小学校跡地とその周辺合わせて約5ヘクタールが候補地として挙げられていた。
ここに物産館やレストラン、道路交通情報や気

象情報を提供する管理棟などを設けるほか、地下水を揚水する施設、ガソリンや灯油を貯蔵できる施設など、自然災害や緊急時に札幌圏の人たちの防災拠点となる新しい形の「道の駅」建設を模索してきた。
「道の駅」の管轄は国交省で、北海道は開発局が窓口となる。11年3月の

期成会のメンバーらはこれまでに石狩管内の他の「道の駅」を視察したり、市の担当者や勉強会を開くなど、実現へ向けて運動を進めパンフレットなども作成して道の駅建設をPRしていた。
今回、これとは別に、市内在住の有識者が市などに寄せた詳細な建設プランと「提言書」によると、普通車が約200台

北広島市と言えば、日ハムのボールパーク建設で注目されるようになったが、札幌と新千歳空港などを結ぶ幹線路線の国道36号に面した輪厚地区に、防災拠点ともなる大規模な「道の駅」建設構想が動き出している。物産の販売施設だけでなく、宿泊施設なども併設したり、災害時には電気や水を供給することができる道内最大規模となる拠点施設を目指すものだ。北広島市の2021年度からの長期総合計画に検討課題として盛り込まれることになり、2023年のボールパーク開業後の開設を目指して構想がさらに膨らむ可能性もある。

東日本大震災を受けて、全国で防災拠点も兼ねる道の駅が建設されており、国の防災関係者からも札幌に近い場所での防災拠点を考えるべきだとの声が上がっていた。
北広島市の有志グループが7年前にまとめた素案には、自家発電施設や厳冬期を想定した避難用の宿泊施設などの建設もアイデアとして組み込まれていた。



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<http://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

TEL 011-644-0101

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)